

## 全国からの支援



発災直後から全国各地の皆さまより  
心温まるご支援をいただいております。

ほんの一部ではありますが、掲載させていただきます。

たくさんのご支援ありがとうございます。

ふるさと納税(災害のみ)

11,603,021円

災害支援金

12,992,102円

災害義援金

10,568,214円

災害義援金について

被災された方への配分は佐賀県及び武雄市の配分委員会において  
決定後行います。申請受付までしばらくお待ちください。

令和3年9月15日現在

## 番外編

### あの時、 市外在住の方も 避難をしていました!

#### 立石集会所の皆さんへ

旅先で豪雨に見舞われた僕を余所者であるにもかかわらず助けてくれてありがとうございました。1日も早いご回復をお祈りしております。また機会をみて武雄市に伺いたいと思いますのでその時はよろしくお願い致します。

この方は無事帰宅後、武雄市にふるさと納税をしてくださいました。

黄色い車の者さん



#### 立石集会所

立石集会所(橋町)では自主的に避難所を開設されており、カレーのふるまい等を実施されたそうです。

災害義援金

10,568,214円

令和3年9月15日現在

## あのときの「ありがとう」で紡ぐ支えあいの輪

宮原  
北方町  
ミチ子  
さん



近所の方は自衛隊のゴムボートで救出してもらい、避難所まで送つてもらったそうです。そういった自衛隊の救助をはじめ、ボランティアの方もいち早く駆けつけてください心強かったです。被災された経験をお持ちの方が多く、だからこそそのスピード感ある支援で助かりました。本当にありがとうございます。

Thank you! ↗

岡本  
代表  
忠裕  
朝日町  
Aスター  
寺子屋  
さん



今回、中学生から大学生まで多くの子どもたちが活動の手助けをしてくれました。被災者の方はどうしても「大丈夫だから」と、我慢をしがち。しかし、いつ立場が逆転するかもわかりません。困った時にボランティア(支援)を受け入れてくれるから支えあえるのです。受け入れてくれてありがとうございます。これからも共に支えあいましょう。

Thank you! ↗

和田  
鳥栖市  
めぐみ  
さん



遠くは三陸や福島など色々な所でボランティアを経験してきました。地元で何か貢献できればと思い、県外移動の制限がなくなったタイミングで参加させていただきました。いつも支えとなってくれる様々な団体さんはお世話になっています。もちろん自分でも用意はして行くのですが、物資の支援などとても助かっています。ありがとうございます。

Thank you! ↗

古賀  
会長  
滋  
武雄市  
社会福祉協議会  
センター



今回は募集を県内のみに制限したこともあります、何度も足を運んでくださったボランティアさんもいました。一言で言うと感謝しかないです。本当に有り難いです。年齢も幅広くお越しいただき、皆さんのおかげで日々支援ができたと思います。被災された方が一日でも早く元の生活に戻れるように願っています。

Thank you! ↗

宮原  
北方町  
祐子  
さん



我家の一番深い所では私の背丈以上の大水が来ました。すぐにお友達やボランティアの方が駆けつけてください、災害ごみ出し運搬、洗い物からお弁当、物資の配布など支援していただき本当にありがとうございました。日頃からの助けあい・支えあいの絆がとても大切と思いました。

Thank you! ↗

松岡  
博文  
さん  
(武内町出身)



災害派遣要請を受けて、人命救助及び安否確認の任務にあたりました。私たちが任務遂行するにあたって、市の関係者及び地域の方の協力が必要不可欠です。皆さまからの情報無くして安否確認などの任務は遂行できませんでした。心から感謝申し上げます。被災にあられた方が一日でも早く元の生活に戻れるように久留米の地より願っております。

Thank you! ↗

小野  
橋町  
原区長  
義孝  
さん



私たちの地区は63戸中、床上32戸・床下4戸と多くの家が被害にありました。そんな中、出勤してくれていた消防団員の方々にはとても感謝しています。自身の家が被災された方もいたと聞きます。初動災害対応から、水が引いた後の片づけまで応援に来てくださいました。消防団の活動に涙を流しながらお礼を言われる方もいました。本当にありがとうございました。

Thank you! ↗

野田  
橋町  
分団長  
謙一郎  
さん



発災当日は自分の背丈よりも浸水し、救助は困難を極め、本格的に活動ができたのは数日経ってからでした。災害ごみ運搬は西川登町や山内町の消防団にも協力していただき実施しました。私たちにできることは限られていきましたが、その後の清掃など細やかなニーズを引き継いでくださったボランティアセンターに感謝しています。

Thank you! ↗